

事業所名

イロドリ

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

R6

年

7月

1日

法人（事業所）理念	想いを叶えるカラダをつくる							
支援方針	＊イロドリ＝ みんなが、安心して『イロドリ』を添えられる場所に みんなが、それぞれ『ジブンイロ』に染めていける場所に みんなが、『イロトリドリ』に社会とつながる場所に							
営業時間	9時	00分	から	17時	00分	まで	送迎実施の有無	なし（応相談）
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	☆健康状態の維持・改善→日々のバイタル確認、ABCDE評価を通してアセスメントを深めていく ☆生活習慣や生活リズムの形成→サーカディアンリズムを意識し、児に応じて午睡時間を確保する ☆基本的な生活スキルの獲得→ADL活動一つ一つを大切に關わっていく 上記3点の発達・改善・獲得に向けて多職種連携を実施していく						
	運動・感覚	☆姿勢と運動・動作の基本的技能の向上→個別リハビリの実施 ☆姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用→ポジショニング、姿勢保持具、補装具の活用 ☆身体の移動能力の向上→個別リハビリの実施、MDの積極活用 ☆保有する感覚の活用→感覚特性のアセスメント ☆感覚の補助及び代行手段の活用→優位感覚の活用・発達促進 ☆感覚の特性への対応→感覚ダイエットの視点を以て環境調整						
	認知・行動	☆認知の特性についての理解と対応→各種評価法を用いたアセスメント ☆対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得→ABA、強化学習 ☆行動障害への予防及び対応→良行動を強化するためのスタッフの行動、強化子の選定						
	言語コミュニケーション	☆コミュニケーションの基礎的能力の向上→快不快の表出 ☆言語の受容と表出→前言語期の促進、AT機器の積極活用 ☆言語の形成と活用→AT機器の積極活用 ☆人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得→三項関係 ☆コミュニケーション手段の選択と活用→AT機器の積極活用 ☆状況に応じたコミュニケーション→多様なコミュニケーション手段の使用						
	人間関係社会性	☆アタッチメント（愛着）の形成→他者への関わりが心地よいということを感じることができるように関わる ☆遊びを通じた社会性の発達→季節の遊びを保育・活動に取り入れていく ☆自己の理解と行動の調整→応答的に関わり自己理解を促進する ☆仲間づくりと集団への参加→集団活動を通して自他の違いの認識を促進する						
家族支援	・こどもと家族の安定した関係づくり ・きょうだい児への関わりや配慮 ・両親のレスパイト、就労支援にも取り組む				移行支援	・本人家族の希望に応じて保育所、こども園、幼稚園への移行を推進していく ・就学準備も積極的に行なっていく		
地域支援・地域連携	・主治医、基幹病院、往診医、訪問看護ステーション、計画相談事業所、行政と積極的に連携し、こどもと家族が地域で安心して暮らすことができるように基盤作りに寄与する				職員の質の向上	月に1回の定期勉強会、オンライン勉強会など		
主な行事等	誕生日会、季節のイベント、法人内他事業所との交流、地域との交流 など							